

MALDI-TOFMS を用いて血液培養から検出された希少な菌に関する研究のお知らせ

研究の目的

菌血症は、細菌が血液に入る重症の感染症です。外来受診や入院中の発熱などの症状の際にこの菌血症の有無を確認するために、血液培養検査を行うことがあります。当院では2014年からMALDI-TOFMS（マトリックス支援レーザー脱離イオン化飛行時間型質量分析計）を用いて菌の分析を行っております。これにより今までは報告の少なかった菌が同定結果として検出されることがありますが、それらが臨床的にどれくらい意義があるかはわかっていません。これら希少な菌の臨床的意義を検討することがこの研究の目的となります。

研究の方法

京都市立病院で以下に該当する患者さんのカルテを拝見し、データを収集、解析します。研究実施期間は2014年4月から8年間としております。

- 対象

2014年4月1日から2022年5月31日までの間に当院で血液培養陽性となった方。
(以下の方は対象から除外されます。)

- ・ 検査時の年齢が18歳未満である方

以下の情報を集めます。

- 血液培養検出菌
- その菌種が真の陽性であったか、汚染菌であったか、不明であったか
- 感染症病名

プライバシーの保護

データ収集の際には、みなさんの個人を特定しうる情報（個人識別情報）は院内で厳重に管理します。個人が特定されないよう匿名化し、データの解析を行います。この研究の成果は、学会や医学雑誌などに発表する予定ですが、その際にみなさんの名前や身元が明らかになることはありません。また、この研究は当院の臨床研究倫理審査委員会の承認を得ており、みなさんの権利が守られることが確認されています。

提供いただいた情報は以下の研究者が利用します。

- ・ 住吉 翔元（大阪大学附属病院 感染症制御部）
- ・ 栃谷 健太郎（京都市立病院 感染症科）

※情報管理責任者は住吉 翔元です。

研究担当者および連絡先

この研究に関してご質問がある場合や、対象となる方でご自身のデータが研究に利用されることを拒否される場合は、お手数ですが以下の連絡先へご連絡ください。

主任研究者：大阪大学附属病院 感染制御部 医師 住吉 翔元

連絡先：(Tel)06-6879-5111 (E-mail) sumisho@hp-infect.med.osaka-u.ac.jp

または、研究責任者：京都市立病院 感染症科 栃谷 健太郎

連絡先：(Tel)075-311-5311 (E-mail) ktochitani@kch-org.jp